

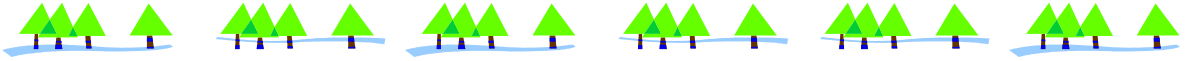
学校だより

広島市立天満小学校



# プラタナス

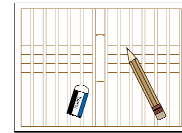
平成28年9月16日 臨時号



## 「基礎・基本」定着状況調査の結果報告

平素は、本校教育推進にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、6月に第5学年の児童が行った『基礎・基本』定着状況調査（国語科・算数科・理科）」の結果報告をいたします。



### 1 各教科の平均通過率について

教科	本校	県平均	市平均
国語科	60.7	63.7	59.8
算数科	74.6	69.4	66.3
理科	55.0	60.6	55.9

全体的に市の通過率を上回っており、県の通過率に対しては90%前後の通過率でした。これまでの学習内容の定着については、おおむね定着していると考えられます。本校で、これまで継続的に取り組んできた項目も、定着状況に向上が見られます。今後も更に、児童の基礎学力の向上に努めていきます。

### 2 各教科における重点課題と日々の教育活動の留意点

#### (1) 国語科

##### ① 段落相互の関係をつかむ

段落の入れ替えやキーワードを考える活動を仕組み、段落相互の関係を理解できるようにする。

普段の生活の中でも、段落を意識して文章を書く指導を行う。

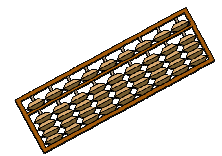
##### ② 主語と述語の関係に留意する

学習のまとめや作文、日記等書く指導を通して、主語・述語の関係を指導する。主語は動作をする人などを表す語、述語とともに文を作る語であることを、繰り返し例示しながら指導する。

##### ③ 漢字の読み書きの定着

日々の授業で、少しずつ新出漢字を学習し、週1回書き取りテストを実施する。学習に「なぞり書き・空書き」を取り入れたり「熟語の読み方」等を確認したりしながら指導する。

毎日の家庭学習に、漢字の書き取り練習を取り入れていく。



## (2) 算数科

### ① 図形の定義を正しく理解する

図形を正しく写し取ることや与えられた条件から作図する活動を仕組む。  
生活の中にある身近な図形に目が向けられるようにし、意欲の向上につなげる。  
図形を分類整理する時間をつくり、共通点や相違点について関連付けられるようにする。

### ② 問題解決型学習を展開する

具体的な操作活動を重視し、理解したことを言葉や図、絵などで表現する場面を多く仕組む。

## (3) 理科

### ① 用語の理解

過去に学習した用語を確認し、自分の生活との関わり合いの中で見直し、実生活で使用できるような場面を多く仕組んでいく。

### ② 自分の意見について理由を付けて説明

予想、検証、理解といった学習の流れを確認することで、自分なりの意見をもてるようにし、グループで発表したり、考えを交流したりできるようにする。

## 3 生活と学習に関する調査について

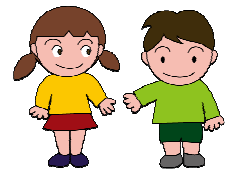
### (1) 特徴的な回答が多かった項目

「学校でみんなと活動することは楽しい」(100%) 「学校や社会のルールを守る」「学校へ行くのが楽しい」「自分のすべきことに責任を持ってやる」(90.6%)

### (2) 課題となる項目

「自分のよさは認められている」(46.9%)

「自分で勉強の計画を立てる」(37.5%) など



### (3) 今後の主な取組

① 授業の中で、「めあて」と「まとめ」を明示し、意欲的に、そして見通しを持って学習に取り組めるようにする。

② 家庭学習に関して、宿題以外にも自主学習に取り組めるようにする。

## 4 各教科の学習に関する調査について

### (1) 肯定的な回答が多かった項目

① 国語科 話の組み立てを考えて話し、中心を考えながら聞く。(68.8%)

② 算数科 自分のとき方や考え方の説明をノートに書く(93.8%)

③ 理科 自分の考えや予想をもとに、観察や実験の計画を立てている。(81.3%)

### (2) 今後の主な取組

① 繰り返し学習を通して、基礎的・基本的な力の定着を図る。

② 積み重ねてきた基礎となる力が活用できるよう、「思考力・判断力・表現力」を付けていく学習課題を設定し、授業を進めていく。

今後も、児童一人一人が、「分かる喜び、できる喜び」を味わえる授業づくりに努めていきます。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

